

中央学院大学

学友会

会報

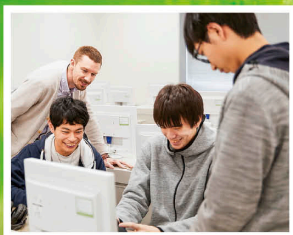
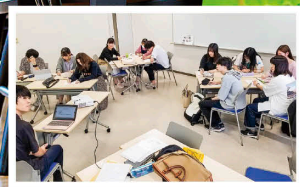
vol. 48
October
2022

Contents

- 01 アビコキャンパスは、元気です!
- 02 会長・学長メッセージ
- 03 学友会の仲間たち、増えています。先生お世話になりました!
- 04 なつかしのキャンパスを振り返って〈学内施設編〉
- 05 お世話になったあの店訪問 川柳募集中!
- 06 学友会活動をガイドします 卒業生の活躍
- 07 寄付の御礼とお願い
- 08 会員の皆様へのプレゼント企画

コロナに
負けず

アビコ
キャンパスは
元気です!



学友会活動のさらなる発展に向けて

さまざまな改革へ協議をすすめて



学友会会長 須山 健司 (1期生)

学友会会員の皆様には、常日頃より中央学院大学ならびに学友会にご支援ご厚情を賜りまして、この場をお借りいたし厚く御礼申し上げます。

昨今は、新型コロナウイルスの影響によってネット会議など工夫を凝らしながら企画・運営しております。現在の主な取り組みとしては、(前)合意書に代わる覚書書を協議することになりました。協議の要点は、学友会会費に関する代理徴収、準会員(在校生)に関する支援及び権利義務等を明確にすることです。また、卒業生である学友会会員は中央学院大学の発展、伝統の向上を願い、物心、知財共に協力して難局な環境を克服するために学友会として大学法人理事に推薦枠への協議にも着手しています。

学友会も今年で52年目を迎え、会員数は3万人を超えて全国に広がっています。関東圏以外の地域別組織強化も今後の大切な課題と考えています。会員の皆様の社会における多くの経験を、中央学院大学の後輩のために活かしていけるような環境を整えていくことも学友会の使命と捉えています。是非、皆様からのご意見ご提案をお待ちしています。

昨年は、第52回明治神宮大会で硬式野球部が初めて日本一となりました。他の部活等も様々な形で、全国で活躍しており、一人の先輩として大変誇らしく思っています。学友会には、皆様からの応援のメッセージが届けられ、改めて皆様の母校愛の深さを感じました。

今後も大学と学友会がタッグを組み、会員の皆様と在學生と母校の発展のために協力し合い、思いやりを持って中央学院大学らしいより良い学友会をつくっていきたいと思います。



学生時代にはゴルフ部に在籍し、今日まで続けている。健康の源でもある

Win-Winの関係をつづけて



学長(名誉会長) 大村 芳昭

7月1日に学長に就任しました、大村芳昭と申します。中央学院とのご縁は、1993年に非常勤講師に採用していただいた時に始まります。その後、1997年に専任講師に採用していただいたから、専任教員として25年、非常勤時代を含めると29年にわたって中央学院にお世話になっております。2000年の助教昇任以降、様々な学部内委員をお任せいただくようになり、2005年の教授昇任以後は、学部長、入試委員長、学生サポートセンター長などを務めさせていただいた上で、今回、学長を拝命しました。

中央学院の学生の皆さんの多くは、一見目立たずおとなしい印象を受けますが、実は優れた能力を秘めている方や、何かのきっかけで大きく化ける可能性を秘めている方が少なくないように思います。たとえば、かつての私が担当していた某ゼミ生は、授業中いろんな意味でマイペースであり、担当教員としては頭痛の種だったのですが、ゼミ担当をはずれてからやる気を出し、法科大学院受験をしたいとアドバイスを求めてきました。私は中央学院大学が、このような学生の皆さんの隠れた能力や化ける可能性を少しでも引き出していける大学でありたいと思います。

学友会の皆様には、本学の歴史と伝統を作り出してきた大きな存在として、心よりの感謝を申し上げます。学友会では新参者の私ですが、今後、学友会と大学との良好な連携を図り、Win-Winの関係を維持強化できるよう努めたいと思います。どうぞよろしくご意見ご提案をお待ちしています。



講義風景



乃木坂46のコンサートにて

2022年度 学友会役員

名誉会長	大村 芳昭			
会 長	須山 健司			
副 会 長	廣幡 隆 山田 壽一			
理 事	吉田 義雄	宮入 昇	石山 健一	押田 泰一
	坂本 貴則	加藤 由美子	城 秀樹	
	佐藤 久富	石崎 洋	山崎 正弘	
監 事	高山 房之 徳田 益和			
相 談 役	下村 芳夫 茶谷 滋			

学友会事務局

開室時間：9時～17時

〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451 本館5階

☎ 04-7185-1563

📠 04-7182-8504

✉ gakyukai@cgu.ac.jp

🏠 <https://cgug.jp/>

学友会にアクセス!



学校法人中央学院 創立125周年記念事業への ご寄付のお願い



法人創立125周年を迎えるにあたり、各設置校において教育研究環境の更なる充実のため、学友会にご協力いただき寄付の募集案内をさせていただきます。卒業生の皆様の温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

詳しくは同封した募集案内をご覧ください。



学友会 会員数エリア紹介

学友会会員は全国に広がっています。

現在支部は新潟支部、中国・四国支部、留学生(日本)支部、教育職員会の4つの支部が活動しており、今後はもっと多くの支部をつくり、全国でネットワークを広げていきたいと思っています。

会員総数 **33,932** 名

2022年7月7日現在(住所不明者/海外等 9,197名含む)

※エリア別の人数には住所不明者は含まれておりません。

学友会のホームページアドレス

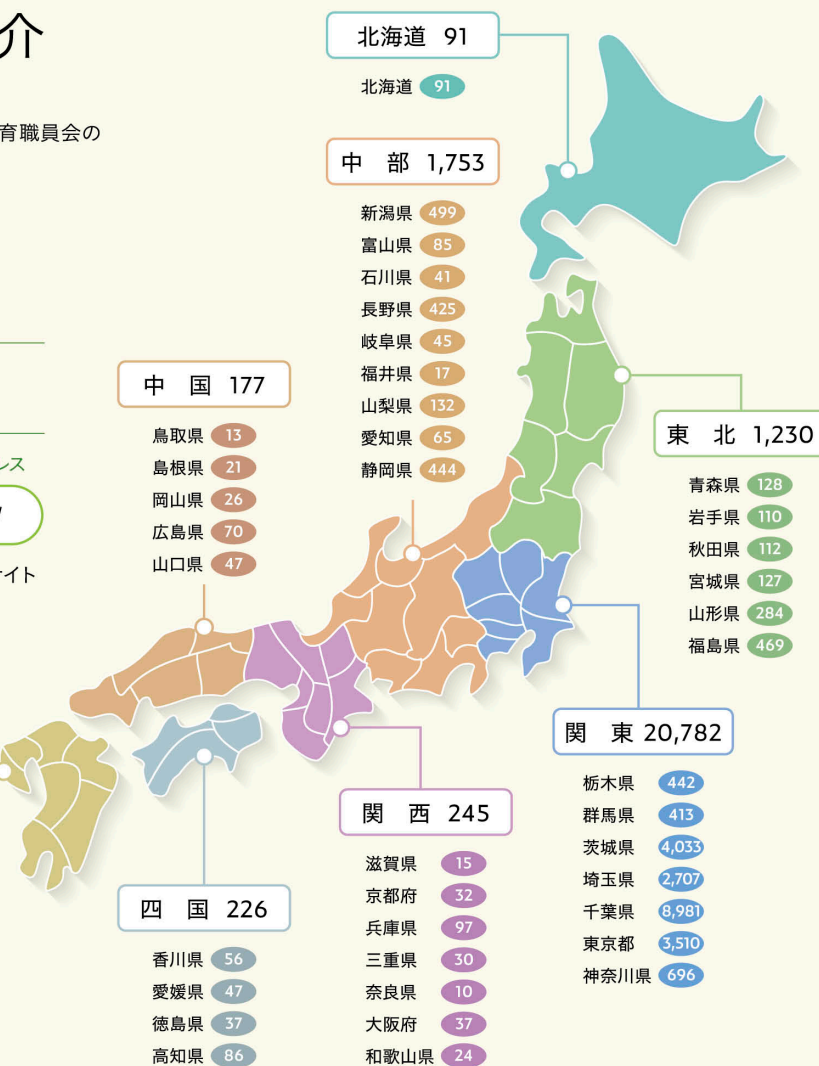
住所変更のお願い

<https://cgug.jp/>

住所を変更された方は、本会事務局に電話またはHP会員専用サイト登録にてご連絡をお願いします。



学友会にアクセス!



弾指に等しい30年を振り返って

前学長/法学部教授 市川 仁
学友会 前名誉会長

来年の春に大学を去ってゆくにあたり、今、研究室に積もった書物や書類などの整理を始めていますが、時折、過去の書類に目をとめ、その断片を読んだりしていると、かれこれ30年の年月が経過したことに気づかされ、この住み慣れたと言っているほどの研究室からも去ってゆくのだということを知らされて、複雑な思いを感じることもすらあるほどです。

光陰矢の如しとはよく口にされる表現ですが、これまでの30年という時間は、感覚的にはむしろ瞬時だったと言っているかもしれません。そして、その弾指の間にさえ、一つひとつを拾い上げれば切りがないほどの様々な思い出が凝縮されていて、なおかつその思い出の中の学生や教員や職員の皆さんの一人ひとりが、

何ものにも代えがたい貴重なものとなって自分を支え続け、今の自分を作り上げてくれたのだということにもあらためて気づかされ、堪えきれないほどの感謝の念を感じています。

そして、私を受け入れてくれた大学はこれまでと同様、未来に向かってその歩みを止めることなく、この先も克服すべき課題を解決し、困難を乗り越えて着実に進んでゆくことと思っておりますし、その確信をさらに深めているところです。

最後に、学友会が大学の発展と在学生の修学環境の充実のために援助を重ねていただいているということに感謝の意を表したいと思えます。また、学友会理事会の役員の皆様を始め会員の皆様とも意見を交わす機会を与えていただいたことに感謝するとともに、学友会の今後のさらなる発展を祈願する次第です。

なつかしの
キャンパスを
振り返って

第4回

学内 施設編

コトバはいらない。 あの時の写真があればいい!

さまざまな時代に通学された皆さんには、
それぞれのキャンパスに寄せる思い出があるだろう。
このスペースで紹介しきれないのが残念だが、
写真の断片から在学した若い頃の自分自身にたどりついてもらえたら嬉しい。

たった1枚の写真が
学生当時の思い出を
連れてくるのだ。



1960年代末

大学ができて、
まだ1、2年しか経っていない
頃の正門付近。



1967-1981年

旧3号館裏手の屋外プール。
こんな写真が記憶に残っているのは
1980年位までに入学した皆さんだけでしよう。



学生食堂(1階)と喫茶室(2階)。
鉄の階段をのぼって
コーヒーをのみに通いました。

1972-2003年



1983年

旧本館1階のロビー。
掲示板にはさまざまな情報があふれていた。



1987年

旧本館の3階にあったコンピュータ実習室。
このスペース、当時相当大きく感じたものです。

自由にメニューを組み合わせ
選べるカフェテリア形式。
これがとってもオシャレでした!



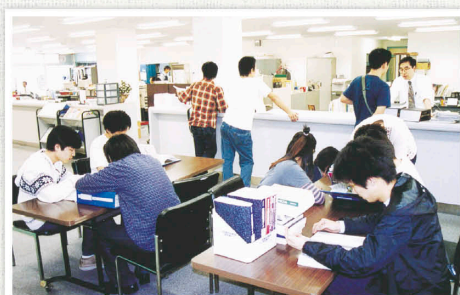
1991年

本学で最初に登場した5号館の大講義室。
当時の紹介文をみると「原型階段教室」と
表現されていた。カッコイイ!



1992年前後

みんなViaの空間が大好きだった。



2000年

旧本館2階の事務窓口。
新しい本館が誕生する数年前の姿である。



2019年

2019年、Via2、3階のスペースが
大幅にリニューアル。

リフレッシュエリア。

校友会でも
費用の一部を
支援しています。





スクールバスがなかった時代は、みんなアビコ駅から大学まで20分位かけて歩いていました。通りには味自慢の定食屋さんやくつろげる喫茶店がたくさんありました。どの店もボリュームや値段で学生の味方でしたね。久しぶりに母校に来られた折には、ぶらぶらと歩いてみては如何でしょうか？

なつかし の久寺家ストリート

今も健在!

★ ガラン Garan



大学図書館が建った頃の開店(1980年位)。「以前はこの通りに8軒のキッサ店が並んでいたんですよ。今はうちだけ」とのこと。「近くのアパートに住む学生さんたちが、店を貸しきってパーティーをよく開いてました」といったいい時代の思い出も…。メニューの中では以前からアイスコーヒー(本格的!)が人気だそうです。



★ あけぼの食堂



1期生が卒業する年に開店したという久寺家ストリートの中でも、1、2の歴史がある食堂です。野球部メンバーが練習帰りにひんばんに夕食(大盛り)を食べに来ていたとか。「1人で大盛りごはんを4杯も平らげていた“大食らいのケンちゃん”お元気ですか?」とのご主人からのメッセージあり。人気メニューは、もつ煮込み定食。



★ 美松



1975年にオープン。現在では珍しくなったが、昔はまかない付きのアパートや下宿が多く、美松さんも店の脇に建てたアパートに中央学院の学生100名が住んでいたそう。料理人がつくる朝ご飯はさぞかしおいしかったでしょうね。学生さん人気のメニューは、ミックスフライ定食でした。オイシウ!



★新企画コーナー

CGU川柳

母校での思い出を川柳にしてみませんか?
「学生生活を振り返って一句」
CGU川柳大募集!!

中央学院大学卒業生の皆さん、
会報の新しい企画として「CGU川柳」を募集します。
毎回お題を変えて募集する予定です。
今回は初回ということで、皆さんの思い出深い

学生生活を振り返って一句 をテーマに募集します。

学生生活での楽しかったことや辛かったこと、
また失敗しちゃったことなどを5・7・5で自由に表現してください。

ラー定か
しゃぶスパか
迷う日々

炎天下
久寺家通りが
長すぎる

応募期間

2022年10月11日(火)～2023年3月31日(金)
※応募は中央学院大学の卒業生のみとなります。

応募方法

中央学院大学校友会のホームページの
「CGU川柳に応募する」から
応募してください。

➡ <https://cgug.jp/>

審査基準

- ◆クスツと笑える作品
- ◆自虐ネタなどユニークな作品
- ◆なるほど「そんなことあったなあ」と懐かしい作品
- ◆表現方法(ことば選び)が素晴らしい作品

当選発表

最優秀賞(1名) 優秀賞(2名) 特別賞(10名)
2023年6月中旬～下旬(来年会報に掲載します。)
入選された方にはプレゼントをご用意しております。

活動の活発化に向けて、皆様力を貸してください!!

01

各支部の活動

学友会では現在、中国・四国地区支部、新潟県支部、留学生(日本)支部、教職員会があります。今後は全国にいる会員の皆様のために地方の支部を増やして、ネットワークの輪を拡大していきます。



中央学院大学学友会は、母校のより一層の発展を後押しするとともに、会員同士の交流・親睦を図ることを目的として設立されました。さまざまな活動を通して、在校生への支援や卒業生への一体感・愛校心を育てていきます。

04

my弁護士制度

学友会会員だけのメリットとして、少しでも身近に法律相談していただけるよう、無料で弁護士に相談できます(時間は限らせていただきます)。相続問題、離婚、金銭問題など1人で抱え込まず、まずはご相談ください。



※今年度はコロナ禍のため主な活動は自粛しました。

02

卒業生親睦会 助成金制度

卒業生の集まりを継続的に続けていくために支援する活動です。同じゼミの仲間や運動部など、これまでさまざまな仲間の集まりが開催されています。



03

在学生への 支援活動

在学生が快適で充実したキャンパスライフを送れるようにサポートしています。クラブ活動やあびこ祭への補助、箱根駅伝応援バスツアーなども含めて在学生を応援しています。



05

会報の発行

年に1回、学友会会報を発行しています。毎年趣向を凝らして卒業生の方々に楽しんでもらえるような内容を企画してお届けしています。



第3弾 卒業生の活躍

まちづくりの魅力を追って

平成2年(1990)卒業、神奈川県茅ヶ崎市役所で保育課長、行政改革推進室長を経て現在は、こども育成部長の職についています。

卒業後、いったんは金融機関に就職したものの、顧客の資産に応じたサービスを提供していくといった民間企業よりも、地域の皆さんが喜ぶ「まちづくり」ができるという魅力に惹かれて公務員に転職しました。地方公務員を選んだのは、住民が求める本当のニーズを的確に捉えられる先端にいたったからです。仕事をする上で大事にしてきたことは、「曖昧な状態をよしとしないこと」と、「何を伝えたいかより、何が伝わるか」という考え方です。何事も共感を得られなければ大きな成果につながらないので、コミュニケーションにおける想像力は何よりも重要だと思っています。

発想は自由に大胆に、そしてそれが「まちづくり」に繋がっていくことは地方公務員の大きな魅力です。今は部長職ですが、できるだけたくさんの職員と対話することを心掛け、既成概念にとらわれ過ぎることなく前向きな仕事ができるよう、より良い職場環境づくりに努めています。



卒業式典の後、仲間たちと図書館前で(左から2番目)

三浦 克之さん

1990年
法学部卒業



アロハシャツは、2003年からつく茅ヶ崎市の夏の職員ユニフォーム「アロハビズ」となっている

つぎやき コーナー

学食でしゃぶしゃぶ定食を食べるのが楽しみでした。また硬式野球部の部活の帰りに近隣のあけぼの食堂へよく行きました。

ペンネーム: 波乗りジョニー / 2002年卒

サイクルサッカーを3年半やっていました。OBとして相手校と今も交流しています。卒業して21年、今も変わらずやっています。

ペンネーム: ふう / 2000年卒

彼女と学校へ一緒に講義に出席したり、旧食堂で卓球したり、その後結婚し、生まれた息子は4月から我が母校(CGU)の後輩になっています。

ペンネーム: もうも / 1997年卒

中央学院大学指定アパートに1年次入居。部活(バレーボール部)で大ケガをして松葉づえの時、仲間が交代で食堂から食事を運んでくれたっけ。

ペンネーム: イマノ / 1997年卒

寄付のお願い

学友会では、「会員相互の親睦を図るとともに、母校の発展に寄与すること」を目的として活動しています。コロナ禍に見舞われた2020年から2022年の間は、思うような活動ができず歯がゆい思いをしました。大学野球日本一や箱根駅伝への出場など、在学生の活躍に対し、応援ツアー企画を実施することができませんでした。世の中もwithコロナの時代になり、今後は少しずつ親睦会や各支部との連携、応援バスツアーなど、これまで通りの活動ができる環境になってくると思われます。毎年のお願いとなりますが、学友会活動にご賛同いただき、一人でも多くの方のご協力を賜れますよう、お願い申し上げます。

※寄付金は、学友会の「寄付金等取扱規定」に則り、有効に活用させていただきます。
※なお、ご寄付をいただいた方のお名前と金額の公表について同意を得られた方につきましては、学友会会報やホームページ等で公表させていただく場合があります。

中央学院大学学友会 寄付者 芳名

学友会の一般寄付として、会員の皆様より81件、659,500円のご寄付を賜りました。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。ここに感謝の意を込め、ご芳名を掲載いたします。

※匿名希望や未記入の方は、除かせていただいております。

相沢 一彦 様	大貫 英範 様	坂下 方規 様	鈴木 義明 様	七木田 賢一 様	松本 敏男 様	米窪 眞 様
安部 達也 様	小川 操 様	佐川 健一郎 様	鈴木 義幸 様	軒名 和美 様	松本 秀樹 様	
稲垣 寛延 様	小倉 義夫 様	佐藤 浩司 様	高山 正史 様	廣幡 隆 様	宮入 昇 様	
井山 等 様	海津 一義 様	佐藤 孝雄 様	田端 隆憲 様	福田 豊 様	宮本 貴文 様	
瓜生 賢二 様	亀井 照明 様	佐野 祐一 様	塚原 新太郎 様	福村 直人 様	森 重貴 様	
海老根 博 様	北野 勝也 様	城 秀樹 様	富岡 亮太 様	程田 謙 様	山崎 一好 様	
大塚 潔 様	後藤 順一 様	鈴木 裕也 様	富島 隆文 様	前原 秀光 様	吉田 秀夫 様	(50音順)

寄付金振込先

ゆうちょ銀行

口座番号 00160-8-551187

口座名義 中央学院大学学友会

※お振込みの際は、同封の払込取扱票をご利用下さい。
2022年1月ゆうちょ銀行による「一部商品・サービスの料金新設・改定」に伴い、現金でのお支払いの場合は、1件ごとに料金110円が加算されます。
※払込取扱票の通信欄にお名前、ご住所、卒業年度等のご記入をお願いいたします。また、お名前・寄付金額につきましては、必ず掲載の可否にチェックをお願いいたします。

税法上の取り扱いについて

学友会寄付金等取扱規定第11条に基づき、学友会への寄付行為は税法上の寄付金控除の対象となりません。その点をご了承の上で寄付をお願いいたします。



学友会オリジナルバッジ



累計1万円以上のご寄付にご協力いただいた会員様に学友会オリジナルバッジを配布させていただいております。

令和4年度学友会総会（書面決議）のご案内

この度、令和4年度学友会総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集会形式での開催を中止し、書面にて開催いたします。つきましては、学友会ホームページ会員専用サイトをご確認の上、会報に貼付している議案回答書（ハガキ）の返送にて、意思確認をお願いいたします。また、議案回答の結果につきましては、皆様の回答を集計し、学友会ホームページ会員専用サイトにて報告いたします。

・ハガキ返送期日：2022年11月15日（火）

・議案回答集計公開日：2022年12月末日予定

※議案回答書の未提出は、会長に一任とさせていただきます。

※回答していただいた方に、抽選で200名様に粗品をプレゼントします。

特例の事態のため、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度 中央学院大学学友会 定例総会 議案回答書

各議案につき、いずれかに○印をして署名（サイン）をお願いします。（○印は全4か所）

第1号議案 令和3年度 事業報告・決算報告

賛成 反対

第2号議案 令和3年度 会計監査報告

賛成 反対

第3号議案 令和4年度 事業計画（案）・予算（案）

賛成 反対

第4号議案 学友会規約変更について

賛成 反対

各議案について上記のとおり意思表示致します。

2022年 月 日 氏名

Ⓜ

ご意見など

現況届（会報が実家に届いている場合は、現住所を記入してください。）

現住所 〒

氏名

（旧姓：）

年3・9月卒／生年月日

年 月 日

ご記入いただいた個人情報は、学友会名簿及び会報等発送以外は使用致しません。

好評につき、
今回のプレゼントも…
「ちゅーいんこグッズ」

第3弾!! 企画大好評のため

プレゼント企画

中央学院大学学友会は、
会報読者の方々に日頃のご愛読を感謝して、
抽選で30名様に素敵なプレゼントを用意いたしました!
皆様、ふるってご応募ください!

抽選で
30
名様に

ボールチェーン付き
ぬいぐるみ

10名様
(税込1,100円分)



クリアファイル/2種

パタパタメモ

ボールペン

10名様
(税込1,210円分)



トートバック

ピンバッジ

10名様
(税込935円分)



応募
期間

2022年10月18日(火)~11月15日(火)

応募
方法

- 学友会ホームページよりご応募ください。
- ご応募はお1人様1回限りとさせていただきます。
- 当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- 発送期間はおおよそ1カ月半を予定しております。



「ちゅーいんこ」とは

2016年に大学創立50周年を記念して、誕生した大学マスコットです!
中央学院(ちゅういん)とインコを合わせて、「ちゅーいんこ」という
愛称で親しまれています。(LINEスタンプもチェック!!)

〈切り取り線〉

郵送する時のハガキの利用法



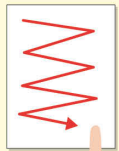
1

このハガキに、**議案回答・
現住所**をご記入ください。



2

切り取り線に沿ってハガキを
切り取り、記入面を内側に
ハガキを貼り合わせて、この
面をコイン等でしっかり
こすって圧着させてください。



3

2022年11月15日(火)までに
ポストにご投函ください。

〈山折り〉

郵便はがき

料金受取人払郵便

柏局承認

7135

差出有効期限
2022年
12月31日まで
(切手不要)

277-8790

柏郵便局留

千葉県柏市柏6-1-22

中央学院大学 学友会

事務局 廣幡 隆行



〈大学青春エピソードを教えてください〉

(ペンネーム) () () 年卒

Blank lines for writing the response.

〈切り取り線〉